



「骨寺通信」

発行：本寺地区地域づくり推進協議会

岩手県一関市巖美町字若神子241-2 骨寺村荘園交流館内
TEL&FAX 0191(33)5022

第65号



収穫祭



第3回 骨寺村荘園収穫祭が、11月10日(日)若神子亭を会場に開催されました。

当日はあいにくの雨模様となりましたが、観光客や地元の方々がたくさん訪れてくださり、活況のイベントとなりました。

正午から行われた餅つきの実演には、訪れた観光客や地元の子供たちも飛び入り参加。つきたての柔らかいお餅に舌鼓を打ちました。

また、米カボチャの両研究会の試食販売ブースでは、今年の新米のおにぎりや、南部一郎かぼちゃの素揚げも振舞われ、公式ゆるキャラ「ついでくん」と「みなみちゃん」も、盛り上げに一役買い、笑顔笑顔の楽しいイベントとなりました。

来年は、晴れてくれるといいですね。



秋の土水路整備作業

毎年、春と秋の年2回行われている、荘園内の土水路整備作業が、今季も11月16日(土)、市内建設業者、水道業者および地元の方々の協力をいただいで行われました。

荘園の景観保全のためにも、非常に重要なこの取組み。例年はあまり好天に恵まれないことが多かったのですが、今回は快晴に恵まれ、雪を頂いた栗駒山を背に、スコップ、鎌、刈払い機等を駆使し、班ごとに割り振りされた土水路に分かれ、作業に汗を流しました。

参加して頂いた全員には、若神子亭のお母さん手作りのお弁当とお茶が配布されました。

参加者の皆さん、おつかれさまでした。そして、ありがとうございました。



中尊寺 米納め

12月15日(日)

参加者募集中

11月1・2日の二日間、健康の森をメイン会場に 骨寺村から平泉 東北を考えるというテーマで「さっぽろ」街道会議が開催されました。

一日目のオープニングでは、本寺中学校生徒による 鶏舞二が披露された後、入間田宣夫市博物館長の基調講演が行われ、続いてパネルディスカッション、座談会、交流会と、東北各地から集まった参加者の方々に、「こゝ骨寺村」や松尾芭蕉ゆかりの道などに理解を深めていただきました。

二日目には、骨寺村荘園遺跡内の探訪も行われ、いわいの里ガイドの会が説明を行なうなど、内容の濃い充実の開催となりました。

さっぽろ 街道会議

遺跡発掘調査現地報告会

教育委員会主催の骨寺村荘園遺跡の現地説明会が、梅木田遺跡などを会場に開催され、市内外から約20人が参加し、遺跡の理解を深めました。今回公開された史跡は梅木田遺跡と白山社及び駒形根神社 巖美町字中川の2地点。梅木田遺跡では、直径1mもある巨大な柱穴が十数個も確認され、大型の掘立柱建物となることが説明されました。また本寺川を挟んで梅木田遺跡と対峙する字中川地内の調査地点では、建物を造るために平場を造成した痕跡や、礎石と思われる石材が発見されています。参加者からは「この遺跡は絵図のどの建物にあたるかや 礎石は骨寺跡のものか」などの質問がありました。引き続き、調査研究が必要とのこと。今後とも、地域の歴史を活かした特色ある地域づくりと世界遺産登録のため、調査を進めていきたとの報告でした。



小区画水田の未来像を...

ワーキングを開催

11月27日(水)、国の重要文化的景観に選定されている、「関本寺の農村景観」の重要な要素となっている伝統的な小区画水田の保存活用方針を決定するための第1回目となるワーキング作業部会が開催されました。

岩手大学農学部教授広田純一先生をアドバイザーに迎え、地権者、推進協、関係行政機関をメンバーに、これまでの取組みを整理しつつ、今後の進むべき道筋を検討する作業となります。

数回のワーキングを予定しており、策定された保全活用方針は、骨寺荘園遺跡指導委員会に諮られ、未来の骨寺村荘園の姿に反映されていくこととなります。